

取扱説明書・追補

以下のファームウェアバージョンより、操作手順の変更および初期値の変更が行われます。

- DR-05 : V3.1
- DR-07MKII : V2.1

再生音に入力音を重ねて録音する(オーバーダビング)の変更

ファームウェアのバージョンアップ後は、以下の操作を行ってください。

メモの記述の変更

- 入力ミックスがオフのときオーバーダビングはできません。(削除)
- オーバーダビングモードのとき、事前録音機能は無効になります。
- オーバーダビングモードのとき、自動録音機能は無効になります。

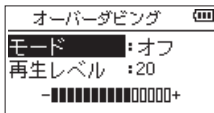
オーバーダビングモードにする

オーバーダビングモードでは、再生音と入力音をミックスして聴くことができます。

注意

オーバーダビングモードのとき、スピーカーの設定をオンにしてもスピーカーから音は出ません。

1. メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. +ボタンまたは-ボタンを使って オーバーダビングメニュー項目を選択(反転表示)し、再生[▶]ボタンを押します。
オーバーダビング画面が表示されます。



3. +ボタンまたは-ボタンを使って モード項目を選択(反転表示)し、▶▶ボタンまたは再生[▶]ボタンを押します。
4. +ボタンまたは-ボタンを使って、オンに設定します。(初期値: オフ)

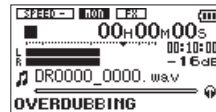


これで入力音のモニターが可能になります。

5. ◀◀ボタンを押して、設定項目選択状態にします。
6. +ボタンまたは-ボタンを使って 再生レベル項目を選択(反転表示)し、▶▶ボタンまたは再生[▶]ボタンを押します。



7. +ボタンまたは-ボタンを使って、再生音のレベルを調節します。
設定範囲は、0 ~ 30(初期値: 20)です。
レベル設定が 20 のとき、録音したままのレベルで再生されます。
8. 設定が終了したら、電源/ホーム/停止[■]ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。
オーバーダビングモードのとき、画面には **OVERDUBBING** と表示されます。



ヒント

オーバーダビングモードのとき、再生コントロール機能を利用して、再生音に合わせて歌や楽器の練習をすることができます。

入力レベルを調節する(簡易調節)

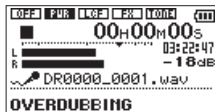
オーバーダビングモードのとき、クイックボタンを押すことで入力レベルの調節が可能になります。

メモ

オーバーダビングモードでのピークインジケータは、入力音と再生音をミックスした信号のレベルで点灯します。

オーバーダビングを実行する

1. 録音 [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。



再生可能なファイルが選択されていないときは、次のようなポップアップメッセージが表示されます。



2. 録音 [●] ボタンを押します。
オーバーダビングが始まります。
録音が始まると録音中インジケーターが点灯し、録音画面には録音経過時間および録音残時間が表示されます。
3. 録音を終了するには、電源/ホーム/停止 [■] ボタンを押します。

初期値の変更

ファームウェアのバージョンアップ後、以下の設定項目について初期値を変更します。

- 録音設定 画面の マイク電源 項目

バージョンアップ前	バージョンアップ後
オフ	オン

注意

ダイナミックマイクや電池内蔵の外部マイク、外部オーディオ機器を接続するときは、マイク電源 項目を **オフ** に設定してください。 **オン** にすると接続したマイクの故障やノイズ発生の原因になる恐れがあります。

- スピーカー設定 画面の スピーカー設定 項目

バージョンアップ前	バージョンアップ後
オフ	オン